

引用・参考文献

- B. S. フォーム他(1973)『教育評価法ハンドブック－教科学習の形成的評価と総合的評価－』第一法規出版
- Nunan, David(1988) Syllabus Design. Oxford University Press
- Clark, J.L. (1987) Curriculum Renewal in School Foreign Language Learning. Oxford University Press.
- Cummins. J & Swain. M (1986) Bilingualism in Education, Longman
- J. V. ネストフニー(1982)『外国人とのコミュニケーション』岩波書店
- J. V. ネストフニー(1989)「日本人のコミュニケーション行動と日本語教育」『日本語教育』67号
- J. V. ネストフニー(1991)「新しい日本語教育のために」『世界の日本ご教育』第1号, 国際交流基金日本語国際センター
- Madaus, et al. (1987). Program Evaluation: A historical overview. In G.F. Madaus, M.S. Scriven, and D.L. Stufflebeam, Evaluation Models: Viewpoints on educational and human services evaluation. Boston: Kluwer-Nijhoff.
- Nunan, David(1988) Syllabus Design. Oxford University Press
- S. ウェッブ・B. ウェッブ (1982) 『社会調査の方法』東京大学出版会
- Skilbeck, M. (1984) School-based Curriculum Development. London: Harper and Row.
- Stufflebeam, D.L. et al. (1971) The CIPP Model for Program Evaluation. Madaus 前掲書
- Wenden, Anita・Rubin, Joan (1987) Learner Strategies in Language Learning. Prentice Hall
- White, R. V. (1988) ELT Curriculum. Basil Blackwell.
- ボック、フィリップ・K (1987)『現代文化人類学入門』講談社学術文庫
- ラルフ・ダーレンドルフ(吉田博司他訳)(1982)『ライフ・チャンス－新しい自由主義の政治社会学－』創生記
- 浅沼茂(1991)「コア・カリキュラム」松崎巖(監修)『国際教育事典』アルク
- 池田秀男(1990)「自己管理的学習」日本生涯教育学会(編)『生涯学習事典』東京書籍
- 稲垣滋子(1990)「帰国生と日本語教育」異文化間教育4 アカデミア出版
- 異文化間教育学会(編)(1988)「特集＝異文化間教育と国際理解」『異文化間教育』2号, アカデミア出版会
- 今井賢一・金子郁容(1988)『ネットワーク組織論』岩波書店
- 岩男寿美子・萩原滋(1987)『留学生が見た日本－10年目の魅力と批判』サイマル出版
- 大塚芳子(1987)「渡航前の子供たち」『異文化とのかかわり』川島書店
- 岡崎敏雄(1991)「コミュニカティブ・アプローチ多様化における可能性－」『日本語教育』73号
- 尾崎明人, J.V. ネストフニー(1986)「インターアクションのための日本語教育－immersion programの試み－」『日本語教育』59号
- 梶田正巳(1991)「日本語指導と教育カリキュラムの構造化」『外国人子女の日本語習得過程に関する学際的基礎研究及び教育プログラム開発研究』平成元年度・2年度科学研究費補助金総合研究(A)研究成果報告書
- 金子郁容(1992)『ボランティア－もうひとつの情報社会－』岩波書店
- 川端末人・多田孝志編(1990)『世界に子どもをひらく』創友社

- 木村康男（1985）『満州（中国東北地区）と残留同胞孤児の記録』国勢研究所
- 倉地暁美（1988）「学部私費留学生の実態－86年度面接調査の概要と留学性教育の課題」『立命館国際研究』1号
- 厚生省日本語指導要領作成委員会編（1989）『中国帰国者自立研修センター日本語指導要領』
- 国分康孝（1988）『カウンセリングの技法』誠信書房
- 小林悦夫他（1986）『中国帰国者の自立促進のための生活指導に関する調査研究』厚生行政研究（スタック）報告書
- 小林悦夫（1993）「第2言語としての日本語教育の課題」中国帰国孤児定着促進センター教務課『中国帰国孤児定着促進センター紀要』第1号，中国残留孤児援護基金
- 小林悦夫他（1993）「中国帰国者に対する日本語教育のカリキュラム開発に関する調査研究」文化庁
- 小林悦夫（1995）「中国帰国者に対する日本語日本事情教育のカリキュラム開発と今後の課題」曾・江畑編『移住と適応』有斐閣
- 厚生省（1990）『厚生省「中国帰国者適応状況検討会」事例研究班報告書・提言書』「適応過程のプロスペクティブ・ステイ(7)－11才以下二世の初期適応－」
- 今野喜清・柴田義松（編著）（1979）『教育学講座7--教育課程の理論と構造--学習習研究社
- 桜井尚（1987）『これでいいのか中国帰国者』
- 佐藤恵美子他（1992）「異文化適応教育におけるボランティア参加型活動のプログラム評価にむけての実践的研究」日本語教育現職者特別研修修了レポート
- 佐藤恵美子・馬場尚子・安場淳（1993）「ボランティア参加型学習活動」中国帰国孤児定着促進センター教務課『中国帰国孤児定着促進センター紀要』第1号，中国残留孤児援護基金
- 佐藤郡衛（1984）「カリキュラムの社会学的研究の現状と課題」日本教育方法学会紀要『教育方法学研究』第10巻
- 佐藤郡衛（1991）「潜在的カリキュラム」松崎巖（監修）『国際教育事典』アルク  
全国社会福祉協議会異文化適応教材開発委員会（1986）「中国帰国者調査報告書」
- 佐藤群衛（1993）「学校文化の日本の特質－帰国子女教育と学校文化－」『国際教育論－共生時代における教育－』中西晃編
- 佐藤郁哉（1993）『フィールドワーク』新曜社
- 周玉慧（1993）「在日中国系留学生用ソーシャル・サポート尺度作成の試み」『社会心理学研究』第8巻第3号 235~245.
- 鈴木慎一（1991）「現職教育」
- 全国社会福祉協議会異文化適応教材開発委員会編（1987）『入郷随俗－中国帰国者の日本社会への適応をめざして』全国社会福祉協議会
- 竹長吉正（1991）『帰国生徒の言語教育』三省堂
- 田中望（1988）『日本語教育の方法－コース・デザインの実際－』大修館
- 田中望（1992）「リソース型教材とはなにか」日本語教育研究所研究発表会（日本語
- 田中望・斉藤里美（1993）『日本語教育の理論と実際－学習支援システムの開発－』大修館
- 中国帰国孤児定着促進センター指導課（1987）『中国帰国孤児定着促進センター大人・青年コース指導項目表』
- 中国帰国孤児定着促進センター教務課（1988）『中国帰国孤児定着促進センター子供コース指導項目表』

- 中国帰国孤児定着促進センター教務課(1994)『中国帰国孤児定着促進センター紀要』 第2号, 中国残留孤児援護基金
- 続・村上『心理学講座・面接法』東京大学出版会
- 東京学芸大学海外子女教育センター編(1986)『国際化時代の教育』創文社
- 東京都教育委員会編(1987)『中国引き揚げ児童適応指導の手引』
- 長尾彰夫(1989)『新カリキュラム論』有斐閣
- 長尾彰夫・池田寛(編)(1990)『学校文化』東信堂
- 中島多鶴・・・取材班(1990)『忘れられた女性たち』日本放送出版協会
- 中島智子(1988)「『国内理解』と『国際理解』」『異文化間教育』アカデミア出版
- 中西晃編(1993)『国際教育論－共生時代における教育－』創文社
- 中野正大(1983)『社会調査を学ぶ人のために』世界思想社
- 中村重穂(1990)「地域社会の国際交流と日本語教育－国立市における実践報告－」『日本語教育』70号
- 日本語教育学会(編)(1991)『日本語教育機関におけるコース・デザイン』凡人社
- 萩原滋(1991)「日本留学に対する在日および帰国留学生の評価」『異文化間教育』No.5, アカデミア出版会
- 波多野誼余夫(編)(1980)『自己学習能力を育てる－学校の新しい役割－』東京大学出版会
- 波多野誼余夫・稲垣佳世子(1984)『知力と学力－学校で何を学ぶか－』岩波書店
- 林 郁(1986)『満州・その幻の国ゆえに』筑摩書房
- 原裕視(1986)「中国残留邦人とその家族」『教育と医学』第34巻第10号慶応通信
- 春原憲一郎(1992)「ネットワーク・ストラテジー－交流の戦略に関する基礎研究－」『日本語学』1992年10月.
- 伴紀子(1992)「言語学習のための学習ストラテジー」『日本語研究と日本語教育』名古屋大学出版会
- 藤田昌士(1985)『道徳教育』エイデル研究所
- 藤永保・他(編)(昭和53)『教育心理学(上)』有斐閣
- 藤原作弥(1984)『満州、少国民の戦記』新潮社
- 武南高等学校ガイダンスセンター(1994)『L H R M A N U A L』
- 文化庁(1982)『昭和56年度文化庁日本語教育研究委嘱 初心者用日本語教材の開発に関する実際的研究』
- 文化庁(1984, 1985)『中国からの中国帰国者のための生活日本語』I, II
- 文化庁(1991)『異文化適応をめざした日本語教育』
- 文化庁(1993)『平成4・5年度文化庁日本語教育研究委嘱 中国帰国者に対する日本語教育のカリキュラム開発に関する調査研究－調査研究の経過と今後の計画－』
- 文化庁『平成5年度文化庁帰国者指導者研修会ディスカッション結果報告』(1993)(未刊行)
- 箕浦康子(1991)『子供の異文化体験』思索社
- 文部省(1987)『帰国子女教育の手引(引き揚げ者子女関係)－小・中学校編－』
- 文部省(1992)「学校基本調査」「帰国児童生徒在籍状況等実態調査」
- 文部省教育助成局海外子女教育課(編)(1991)『海外子女教育の現状』
- 安田三郎・原純輔(1982)『社会調査ハンドブック』岩波書店
- 安場淳・池上摩希子・佐藤恵美子(1991)『体験学習の試み』凡人社
- 安場淳・馬場尚子(1994)「センター支援団体と学習者との交流活動プログラム活性化のための実践報告」中国帰国孤児定着促進センター教務課『中国帰国孤児定着促進センター紀要』第2号, 中国残留孤児援護基金

- 安彦忠彦(1991)「社会科」松崎巖(監修)『国際教育事典』アルク
- 山本雅代(1991)『バイリンガル(二言語使用者)』大修館書店  
教育におけるリソース型教材)資料  
研究社』
- 渡辺文夫(編)(1992)「国際化と異文化教育—日本における実践と課題—」『現代のエスプリ』299号,

#### 参照文献

- 池上摩希子(1994)「日本語教育が必要な児童生徒対象の教育目標構造化の試み—センター中学生クラスを例に—」『中国帰国者定着促進センター紀要』第2号, 中国帰国孤児援護基金
- 隈井由佳・佐久間治夫(1994)「小中学生クラス修了生の学校編入の現状」『中国帰国孤児定着促進センター紀要』第2号, 中国残留孤児援護基金
- 児玉周子・内藤臨(1995)「非識字者を含むセンター修了生家庭への訪問調査報告」『中国帰国者定着促進センター紀要』第3号, 中国帰国孤児援護基金
- 佐藤恵美子他(1992)「異文化適応教育におけるボランティア参加型活動のプログラム評価にむけての実践的研究」国立国語研究所日本語教育現職者特別研修修了レポート
- 佐藤恵美子・馬場尚子・安場淳(1993)「実践報告: ボランティア参加型学習活動」『中国帰国孤児定着促進センター紀要』第1号, 中国残留孤児援護基金
- 佐藤恵美子・小林悦夫(1994)「カリキュラム開発および理念的目標の構造化について」『中国帰国孤児定着促進センター紀要』第2号, 中国残留孤児援護基金
- 玉居子延子(1994)「青年二世進路調査報告」『中国帰国孤児定着促進センター紀要』第2号, 中国残留孤児援護基金
- 寺村由佳・佐久間治夫(1995)「事例研究: 人的リソースの利用状況—中国帰国生徒の場合—」『中国帰国者定着促進センター紀要』第3号, 中国残留孤児援護基金
- 平城真規子(1994)「カリキュラム開発のための状況分析調査—帰国婦人コース開設に向けて—」『中国帰国者定着促進センター紀要』第2号, 中国帰国孤児援護基金
- 文化庁(1993)『平成4・5年度文化庁日本語教育研究委嘱 中国帰国者に対する日本語教育のカリキュラム開発に関する調査研究—調査研究の経過と今後の計画—』
- 安場淳・馬場尚子(1994)「センター支援団体と学習者との交流活動プログラムの活性化のための実践報告」『中国帰国孤児定着促進センター紀要』第2号, 中国残留孤児援護基金
- 安場淳・馬場尚子(1995)「学習者—日本人ボランティア—の交流活動プログラムにおける学習者評価の可能性」『中国帰国孤児定着促進センター紀要』第3号, 中国残留孤児援護基金